



緑の列島 木の家スクール名古屋 2010 一般公開講座

主催：「緑の列島 木の家スクール名古屋」実行委員会
共催：NPO 法人 緑の列島ネットワーク、
名古屋工業大学 木の文化研究フォーラム

後援：岐阜県林政部、名古屋市教育委員会、豊田市、
日本建築士会連合会、職人がつくる木の家ネット、
愛知産業大学造形学部建築学科



「森の聞き書き甲子園」の高校生が見た「不思議な村」



澁澤寿一

NPO法人 共存の森ネットワーク 副理事長

「森の聞き書き甲子園」は100人の高校生と「森の名人」が出会う物語。山に入って山菜やキノコを採り、木を伐って家を建て、木や草で布を織る名人たち。全国から参加した高校生は、聞き書きを通して、名人の持つ知恵や技に触れ、その生き方を学びます。名人が高校生に語った言葉。それは、人間と自然が共生してきた知恵や心の集積です。森と人間が互いに支えあう暮らしは、はるか先人から受け継がれ、私たちの足元にあるものです。そんな村の暮らしをお話します。

1952年生まれ。農学博士。循環型都市「ハウステンボス」取締役などを経て現職。森づくり、地域づくり、人づくりの活動を実践。トヨタ自動車新環境プログラム「豊森」実行委員長

木の文化の国に生きることー歴史的理解から未来へー



藤岡伸子

名古屋工業大学大学院 教授

日本人はその長い歴史の中で「木造」にこだわり続け、森でも町でも豊かな「木の文化」を育みつつ美しい生活空間を作ってきました。しかし、明治以降の社会構造の変化は、木の文化を壊滅させ、私たちは文化的迷子となりました。今再び木に注目が集まる一方、木の文化についての教養は深まっていません。新しい時代への指針として、「木の文化」の本質を再確認してみたいと思います。

東京大学大学院総合文化研究科 修了。専門は比較文化論・美学。研究テーマは、17世紀に始まる近代文化の進展の中で失われてきた自然、共同体、そして手仕事の価値論。特に、柳宗悦と民藝運動、ウィリアム・モリスのアーツアンドクラフツ運動など。これからの時代を切り開く鍵として、その今日的な価値や意義を探究する。

講座概要

日時：9月18日（土） 13:30～16:00（開場 13:00）

■受講対象：「近くの山の木を使った家づくり」や

「緑あふれる居住環境」に関心のある生活者・技術者

■受講料（資料代）

一般 1000円、学生 500円 当日受付にてお支払い下さい。

■事前の申し込みは不要です。

■会場：名古屋工業大学 2号館1階0211講義室（旧F1教室）

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学は、JR中央線・地下鉄鶴舞駅下車 徒歩約8分です。